

俳句詠み動けぬ日々を観察し

芸能人の才能のアルaddinを判定するバラエティー番組「アレバト!!」（毎日放送制作）でおなじみの俳人、夏井いつきさん（63）が、「家から一歩も出なくて俳句は作れます！」という活動をしている。コロナの時代。なぜ、おウチで俳句なのか。普段着の夏井さんを直撃した。

辛口でも

——先日は、「第2回おウチde俳句大賞」の贈呈式に伺い、驚きました。

「アレバト!!」では梅沢富美男さんとの毒舌バトルが面白いので、どんな辛口が飛び出すのかと思つたら、作品のよい部分を見つけ、とつて

もおやさしい！

夏井 そのからくりは簡単で、授賞式は良い句しか出ないで、怒る必要は微塵もないということです。（笑）。それとテレビは、ダウンタウンの浜田（雅功）さんの絶妙な語り口のおかげで面白いと感じていただけなのです。

そもそも懸命に作った句を辛口でも、辛口後のフォローハー寧ですね。作品を添削すると句が俄然よくなる。

先頭出演の林修さんが詠んで、八月燒々実朝のやぐらをくぐらし／という破調の句への添削にもなりました。「実朝のやぐらをくぐらし月焼々」と語順を入れ替えただけで印象ががらりと変わりました。

夏井 へとぐらしとます詠んで、対比的に季語の月を

季語の価値

——侘び寂び／という高雅な印象もある俳句で、なぜ、面白さを強調するのですか。

夏井 中学校の国語の先生をしていた時から、「面白いと思わせたら、こっちの勝つ」と思つてついているからです。そつて思つてゐるからです。

いきなり「ダメです」と言われたらまらないですよ。楽しければ俳句じゃありません。

出した方が、月がちゃんと見えるでしょう。俳句はわざかで、語順や助詞を変えるだけで映像の見え方も、季語の息づき方も違つてきます。「言葉ってすごい」と受け止めてくれたら、それで嬉しいです。

夏

おウチでも面白い種探し人生の方が楽しいよ



なつい・いつき 1957年生まれ。松山市在住。俳句集団「いつき組」組長。第8回俳壇賞。俳句甲子園の創設に携わる。句集に『伊月集』、著書に『夏井いつきの世界一わかりやすい俳句の授業』など多数。



コロナ時代にぴったり！

言ふ人も多そうですが……

夏井 今、あなたがたくさんの語つたセリフの中に、いくつもつぶさきがあるやないですか！ 「秋の暮言那は飯つてうるさいし」って言えば、もう俳句への第一歩。それを繰り返せば俳句の筋肉はついていきます。

だいたい、普通に暮らしてい人から求められる」とつてあんまりないでしよう。

——はあ……。

うなつたら子供は勝手に学び始め、人生は豊かになります。——でも季語には絶滅寸前のは横暴ですよ。見る」とができない、でも想像ができるのがないですか。それを使い勝手が悪いから捨てをといふものが、それって文化の記憶じゃないですか。それは季語を変えるだけで映像の見え方も、季語の息づき方も違つてきます。「言葉ってすごい」と受け止めてくれたら、それで嬉しいです。

——はい、もう一つの才能アリ？

——とほいもの、俳句には才能が必要なのでは？

夏井 私は「自分の脳みそから出てきたものは自分以下でしかない」と思っているんです。だったら外の世界にアシテナを張り、觀察すればいい。そうすれば自分以上のものが転がり込んできます。

芝不器用のへ白壁の振りやみしかばうすみどり／という句を見てみましょう。ここには、春風に揺れている時に白く見えた白壁なのに、風がやまと花に薄緑の色があつたという氣付きがある。時間をかけて觀察すると、世界は違つて見えてきますよ。

——すごい觀察眼で、ハー



病床六尺

——先見の明ですね。

夏井 とんでもない！ すでに想していかなかったし、コロナの拡大で今春からは講演も句会ライブもできなくて、ほぼ家族会社の夏井&カンパニーの経営は青息吐息。空いた時間に4月からYOU Tubeを始め、登録数が5万人

——だからこそ「おウチde俳句」を朝日出版社から出したのはなんと2年前。なぜ発売を？

夏井 長年、季語の現場に足を運ぶことが俳句の基本と思っていましたが、「誰かの力借りないと外に出ること

ができない私は、俳句をする資格がないのですか？」と

——うなづく。「おウチde俳句」の元祖は、同じ愛媛出身の正岡子規です。子規は病氣で動きなくなつてただの作品を作った。子規が

——ウチにいると、子どもは手がかかるし、家事は大変、旦那は飯はまだかとうるさくて、観察するよりがないと



コロナ時代にぴったり！

夏井 でも、俳句ってたかが17音で意味めらるんです。たとえ凡庸な句でも、似たような体験をした人の心に飛び込んでいくこともあります。そういう体験が重なると、世界が違つて見えてくる。（お笑い芸人の）「フルーツポンチ」の村上建志さんの言葉を借りると、「世界に色が生まれた」ってやつですね。

——力が湧いてきました。